

■全数把握対象疾患(結核を除く)

五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人(菌種: *Enterobacter* spp.)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人(血清群:A群)、百日咳 1 人の報告がありました。

★インフルエンザが流行警報レベルとなっています！

■定点把握対象疾患

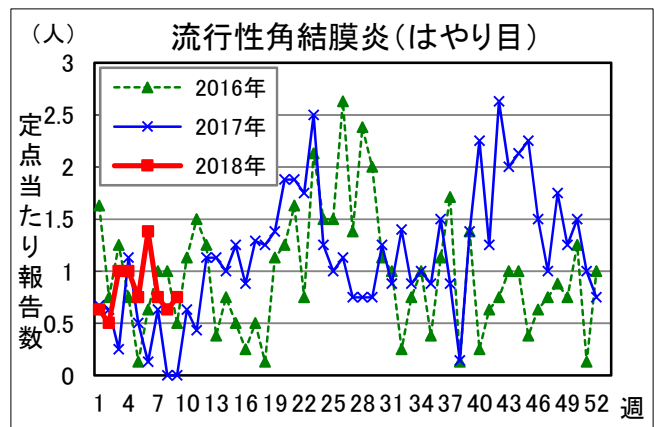
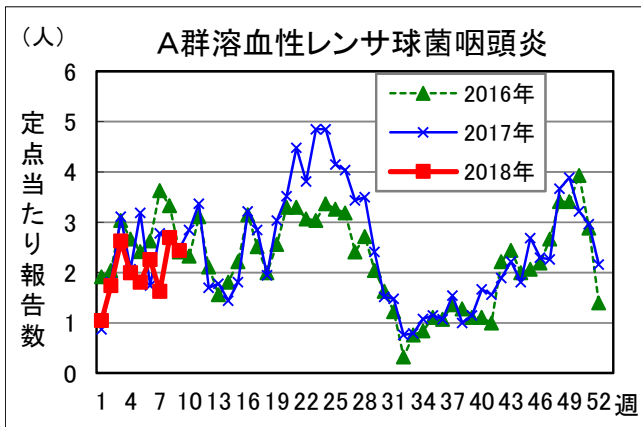
インフルエンザの定点当たり報告数は、先週の 15.90 人から 12.83 人(報告数 526 人)と減少しました。しかし、流行警報終息基準値(定点当たり 10 人)を超えているため、引き続き注意が必要です。ウイルス検出情報などの詳細は、別紙「さいたま市インフルエンザ週報」をご覧ください。

手足口病の報告が増加しました。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎の報告が多い状況です。

無菌性髄膜炎の報告が 1 人(65-69 歳)ありました。

クラミジア肺炎の報告が 2 人(70 歳以上 2 人)ありました。



■定点当たり報告数表(第9週 3月6日 13:00集計)

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	12.83	↓	★
RSウイルス感染症	0.33	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	0.04	↓	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.44	→	★★
感染性胃腸炎	7.19	→	★
水痘(みずぼうそう)	0.22	→	★
手足口病	0.04	↑	★
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.07	→	★
突発性発しん	0.41	→	★

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
ヘルパンギーナ	0.00	→	★
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.00	↓	★
急性出血性結膜炎	0.00	→	★
流行性角結膜炎(はやり目)	0.75	→	★★
細菌性髄膜炎	0.00		報告数が少ないため表示せず
無菌性髄膜炎	1.00		
マイコプラズマ肺炎	0.00		
クラミジア肺炎	2.00		
インフルエンザによる入院患者	4.00		
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	0.00		

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

※流行状況:過去5年のデータをもとに、流行の大きさを示します。(小さい ←★、★★、★★★→ 大きい)

☆春休みに海外渡航される方へ！

海外では、食べ物や水を介した消化器系の感染症、動物、蚊・マダニなどが媒介する感染症に注意しましょう。注意すべき感染症など詳細は、さいたま市感染症情報センターHP「海外渡航される方へー感染症予防も忘れずにー」をご覧ください。



感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2018年第9週 平成30年2月26日～3月4日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	
インフルエンザ #1	526	12.83	2	5	11	19	26	50	42	46	35	26	26	73	25	17	28	35	23	20	11	6	
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-							
RSウイルス感染症	9	0.33	1	2	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	2.44	-	-	3	-	4	12	6	12	7	7	4	10	-	1							
感染性胃腸炎	194	7.19	1	8	24	15	24	19	22	15	8	7	8	20	6	17							
水痘	6	0.22	-	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	1	-	-							
手足口病	1	0.04	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
伝染性紅斑	2	0.07	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん	11	0.41	-	4	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.75	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-					
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2				
インフルエンザによる入院患者	4	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4				
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

(- : 0)

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況… : 警報レベル、 : 注意報レベル

3月 6日 13:00 集計

全数把握対象疾患届出数(2018年)

類型	疾患名	2018年 第9週 受理分	2018年 累計 ※1	2017年 累計 ※1,2	疾患名	2018年 第9週 受理分	2018年 累計 ※1	2017年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	1
	細菌性赤痢	0	0	1	パラチフス	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	40				
四類	E型肝炎	0	0	0	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	3	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノкокクス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	0	2	12
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0	
デング熱	0	0	2	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	0	3	16	水痘(入院例に限る)	0	0	4
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	0	6	先天性風しん症候群	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	7	梅毒	0	3	67
	急性脳炎	0	8	20	播種性クリプトコックス症	0	0	2
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	8	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	2	8	百日咳 ※4	1	2	
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	10	麻しん	0	0	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	11	29				
新型インフルエンザ等感染症	規定されている疾患は、現在のところありません。							
指定感染症	該当する疾患は、現在のところありません。							

※1 累計は診断日で集計しています。 ※2 2017年累計は速報値となっています。
 ※3 結核は四半期ごとに集計し、感染症情報センターホームページに掲載しています。
 ※4 感染症法施行規則の一部改正により、2018年1月1日から全数把握対象疾患となりました。